

第31回 盛岡市都市景観シンポジウム

1 趣 旨

盛岡市は、潤いのある都市環境を創出することを目的に、都市景観形成ガイドラインにより、みなさまの御理解と御協力をいただきながら、盛岡らしい景観形成に取り組んでまいりました。良好で快適な景観形成に対する市民意識が一層高まる中で、近年、地域のまち並みに合わないデザインや高層の建築物の立地により、山並み眺望の阻害や圧迫感、まち並みの不調和、地域コミュニティのまとまりなど住環境を含めた問題が生じてきております。

盛岡市においては、景観法の制定を踏まえて、これまでの話し合いによる合意形成を基本としながら、市民が住み続けたいと感じられるまちづくりを目指すため、建築物のデザインや高さなどについて、一歩踏みだしたルールづくりを検討しております。

今回のシンポジウムでは、「住み続けたいまち、盛岡の景観」をテーマとして、地域の特徴や、生活環境を尊重した建築物等のあり方について話し合いたいと考えております。

- 2 テーマ 「住み続けたいまち、盛岡の景観」
- 3 日 時 平成19年11月20日(火) 午後1時30分～
- 4 会 場 盛岡市中央公民館 1階 講堂
- 5 主 催 盛岡市
- 6 内 容

- (1) 開 会
- (2) 挨拶 盛岡市長 谷藤 裕明
- (3) 平成19年度盛岡市都市景観賞表彰式
- (4) 基調講演 国立大学法人 岩手大学工学部教授 安 藤 昭
演題「盛岡城と開運橋からの岩手山の眺望の確保について」
- (5) パネルディスカッション

住み続けたいまちに向けて、地域に合った建物の形態や高さのあり方などについてパネラーの方々により討議していただくとともに、来場者の方々からも御発言いただき、広く意見交換を行い、方向性を明らかにしていきます。

7 パネルディスカッション出演者

- (1) コーディネーター
三宅 諭 (国立大学法人 岩手大学講師)
- (2) パネリスト
①佐々木(大関) 寿美子 (盛岡市肴町商店街振興組合青年部 フリーアナウンサー)
②斎藤 純 (作家 盛岡自転車会議代表)
③山添 勝 (山添計画工房代表)
④浦口 醇二 (株) かいテソシエツ代表取締役)